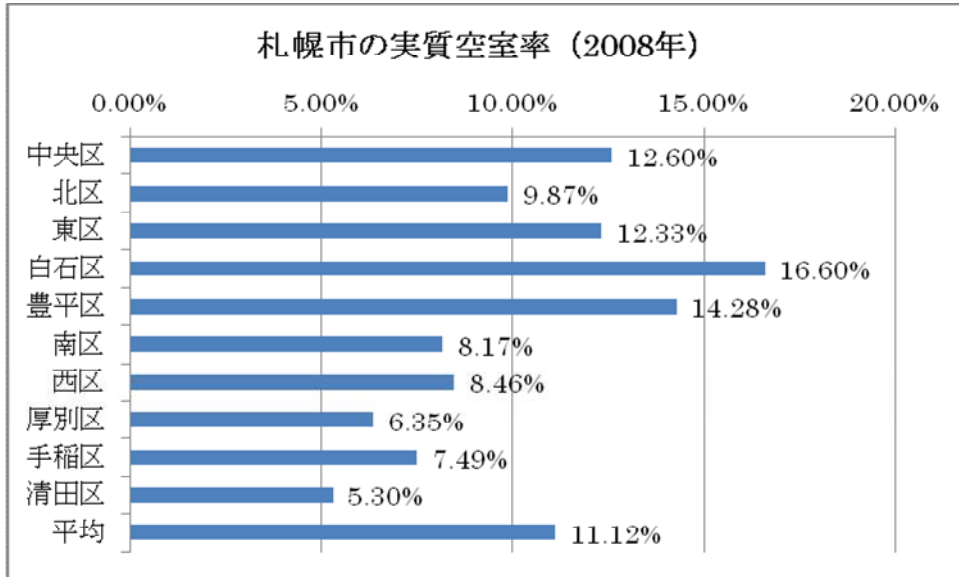
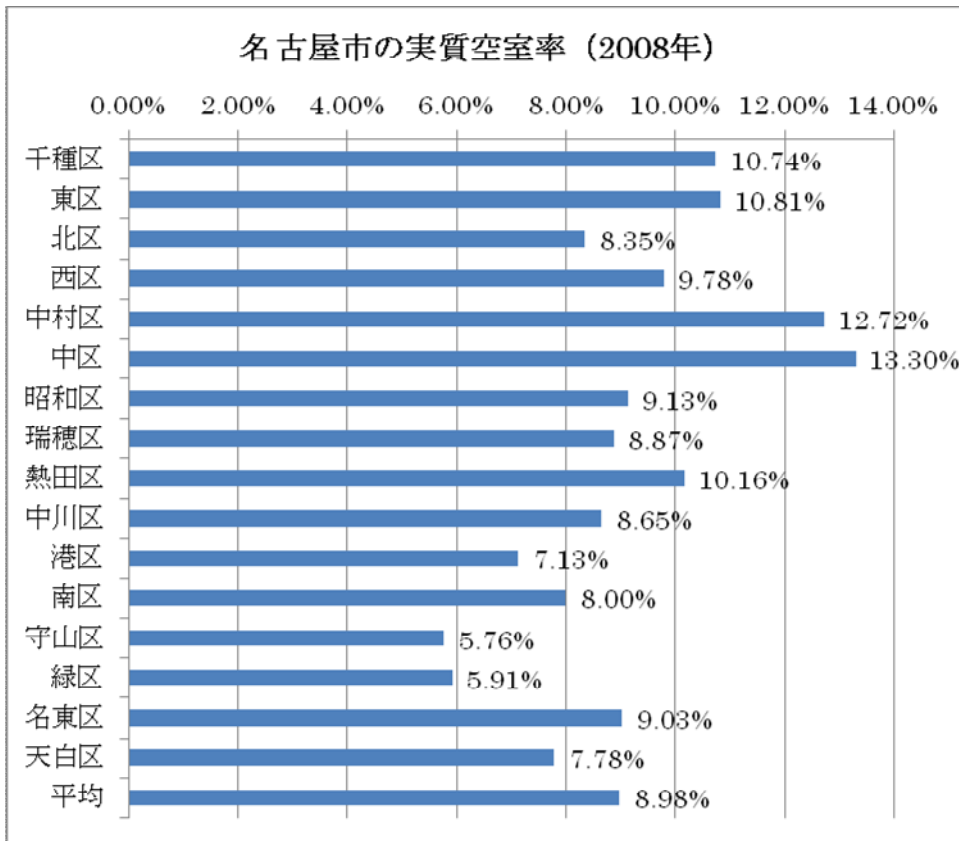


主要政令指定都市の実質空室率

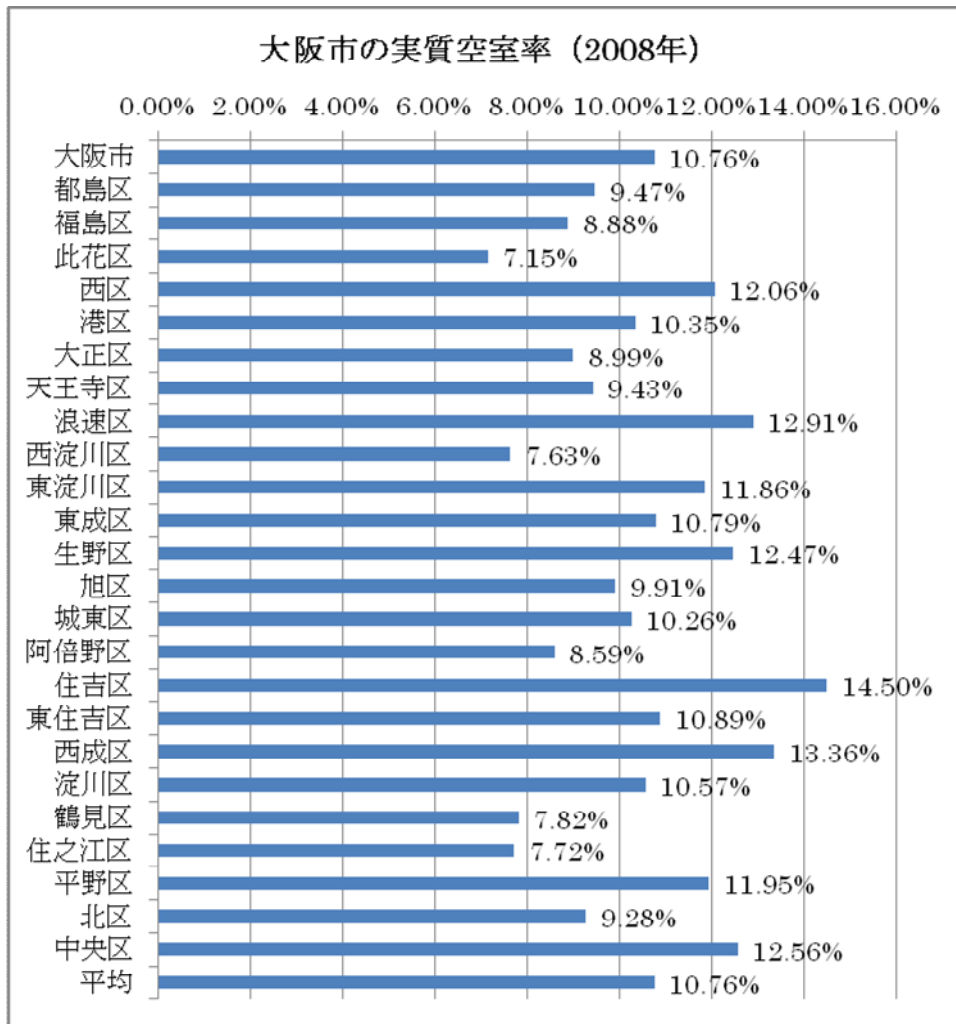
1. 札幌市



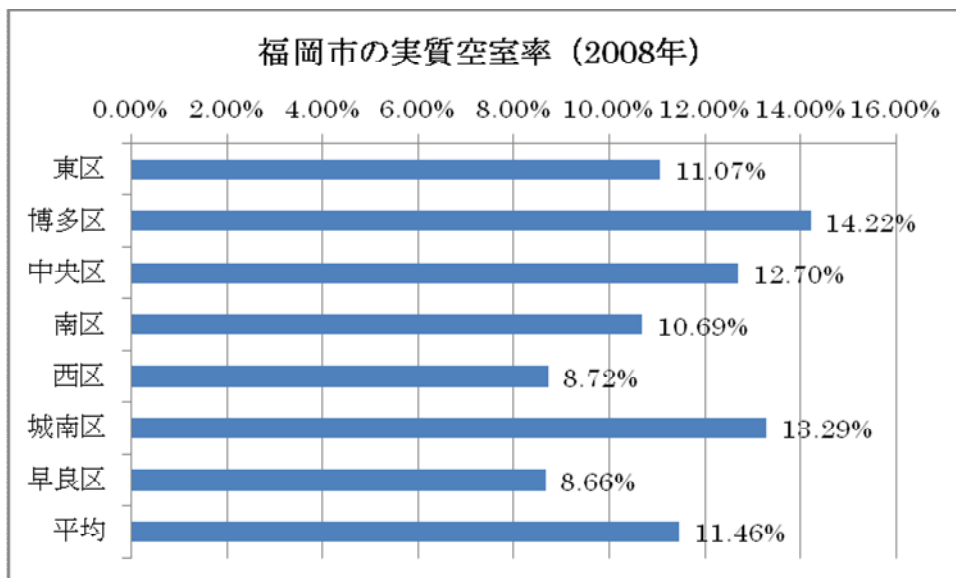
2. 名古屋市



3. 大阪市



4. 福岡市



参考文献等 総務省統計局「平成 20 年住宅・土地統計調査」を基に株式会社リアルプロ・ホールディングスが作成。

用語解説

住宅・土地統計調査 5 年毎に行われ、住生活関連諸施策の基礎資料として利用される。

空室 賃貸用の物件（新築中古を問わない）で普段人が住んでいない住宅。

実質空室率 「(賃貸用物件の空き家+建築中の物件) ÷ 物件総数」。物件総数には持家も含まれるため、賃貸用物件のみの空室率よりも値は低くなる。競合物件が少ない地区（人口が少ない）ほど値は低くなる傾向にある。

建築中の物件 建築中で上棟まで終わっている住宅。